

三宅島ふるさとだより no50

発行日 平成 28 年 5 月 1 日 発行者 三宅島ふるさと再生ネットワーク
本部 〒173-0005 東京都板橋区仲宿 2-1 会長 佐藤就之 ☎090-4922-0798

ご寄付のお願い

神楽坂商店街あおぞら市で三宅島特産品販売

5月15日(日)12時30分より18時まで(雨天決行) 皆さまをお待ちしております

ご支援を頂いている全国のボランティア、専門家、メディア、そして私たち
在京者・三宅島出身者・三宅島村民の皆さま…! 帰島10年、いや噴
火から16年間長きにわたり皆さまのご支援、ご協力に、心より感謝を申
し上げます。

三宅島災害は、復旧・復興から、つぎのステップ振興！を呼びかけて
います。はたして、実態はどうでしょうか。行政と村民が力を合わせ住
みよい島づくりと噴火災害被災者が一人でも取り残されることが無い
ように願ってきました。しかし残念ながら1,000人の帰島できない在京
者は困難な生活を余儀なくされ生き抜いております。そこに私たちは
「三宅島新報」を届け、ふれあいコール、訪問活動等を行っています。

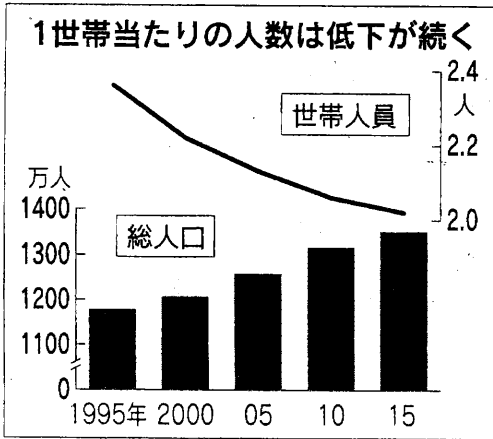
皆さまの温かいご支援と活動資金の、ご寄付をお願いいたします。

郵便振替口座 口座番号；00120-3-545036 口座名称；三宅島ふるさと再生ネットワーク

災害復興まちづくり支援機構代表委員の横山聡弁護士、富田税理士、吉田不動産鑑定
士の専門家と4月24日(日)19時から神着老人福祉館で、島民有志が懇談した。

15年国勢調査 都内人口2.7%増

都心3区は2ケタ増



東京都が26日発表した2015年国勢調査(10月1日時点)速報によると、都内の総人口は1351万3734人だった。前回10年調査より2.7%増えたが、伸び率は4%台だった10年や前回05年に比べ鈍化している。1世帯当たりの人数は2.02人と2人を割る寸前まで落ち込んだ。今後、高齢化も加速するとみられ、単身高齢者世帯の見守りなどの対策が一段と重要になりそうだ。

子育て施策が奏功

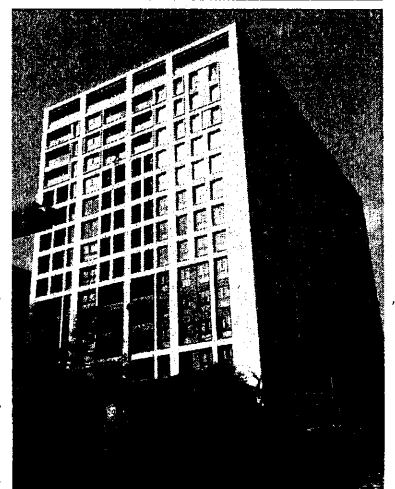
足立や立川は減少

自治体別では都内62区市町村の42区市町村で人口が増えた。増加数が多いのは港区(3万8259人)、江東区(3万7

325人)など。もともと人口が都内最多の世田谷区は、2万3253人増えて初めて90万人の大会に乗った。

人口増加率は都内全体で見ると低下したが、千代田・港・中央の都心3区の増加率は2桁の高水準が続く。交通の利便性が高く、子育て施策に力を入れていることなどから、転入が加速している。10～15年の3区合計の人口増加数は6万7813人と、05～10年の4万8

970人から約4割拡大した。



都心部は大型マンションが増え子育て世帯などが流入している(千代田区)

増加率が23.83%で最も高の千代田区は、流入人口の多くが子育て世代という。石川雅己区長は人口の急増を「子育てのしやすい街を目指して手を打ってきたことが評価されている結果」と受け止める。子どもの医療費無料化など子育て関連の予算は最近15年で55億円増

り、人口が流出している

えて70億円に迫る。保育所の拡充などで待機児童もゼロを継続している。一方、20区市町村は人口が減った。減少数が最も多かったのは足立区で1万2318人。立川市(4280人)や八王子市(3527人)など多摩地域の主要市も減少が目立った。いずれも都心部と比べ利便性などで劣り、人口が流出している

とみられる。

順位	区市	増減数
①	港区	38,259人
②	江東区	37,325
③	板橋区	26,113
④	大田区	24,192
⑤	世田谷区	23,253

順位	区市	増減率
①	千代田区	23.83%
②	港区	18.65
③	中央区	14.93
④	台東区	12.84
⑤	渋谷区	9.94

順位	町村	増減率
①	檜原村	▲13.72
②	奥多摩町	▲13.40
③	青ヶ島村	▲11.44
④	八丈町	▲7.48
⑤	三宅村	▲7.25

↑ 三宅村は、ワースト5位

都内全体では人口増の一方で世帯人員の減少が進んでいる。1世帯当たりの人数は2.02人と、10年の2.06人からさらに少なくなり、2人割れが近づく。23区に限ると前回の調査で既に1.97人と2人を割り込んでおり、今回も1.93人と一段と減少した。今回は速報値で年代別のデータは公表されていないが、特に中高年の単身世帯が増えているとみられる。千代田区の石川区長も「ひとり住まいの高齢者を地域全体で見守り、孤独死を防ぐ取り組みが大切になる」と話している。